

埼整 広報

第103号

2022年9月1日発行



所沢市 所沢航空記念公園

公益社団法人 埼玉県柔道整復師会

<http://www.saisetsu.or.jp>

目次

巻頭言	会長	大河原 晃	1
事業報告			
令和4年度定時総会	広報部		3
第45回公益社団法人埼玉県柔道整復師会柔道大会	事業部長	増田 泉	6
第1回埼整ほねつぎ技術講座	学術部長	原田 禎久	9
受賞報告			
日整 帰一精錬賞		町田 尚司	11
		荻野 義之	
春の叙勲 瑞宝双光章	副会長	渡辺 一民	12
支部便り			
「多喜男くん」	川越支部	増田 泉	13
令和4年度「匠の技 伝承」プロジェクト指導者養成講習会	学術部	酒井 俊一	14
		金島 裕樹	
『柔整考学』…その4	常務理事	山本 光彦	16
さいせい堂書店	常務理事	山本 光彦	17
新入会員紹介（令和4年1月1日～令和4年6月30日入会）			18
本会会員分布図			19
表紙の説明			20
編集後記			20
柔整倫理綱領について			表3
広報部から			表3

柔整ルネッサンス



会長 大河原 晃

会員の皆様方におかれまして、日頃は会務の運営に対しご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。お蔭様で執行部も一年が過ぎました。コロナも発生して2年半が経ちましたが、皆様方の施術所から1件のクラスターを出すことなく、施術にあたられていることに対し感謝申し上げます。コロナの波も、発生以来終息の気配無く繰り返されております。しかしここへ来て感染者数も増加傾向にありますが、条件付きながら少しでもマスクから離れられる環境になってきたことは大変素晴らしいことだと思います。

さて、この半年を振り返りますと、2月24日ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始してから、約半年が過ぎようとしています。どの様な理由があるにせよ、主権国家を武力で蹂躪し、無差別に市民の命を奪う事などあってはならない事です。私達は、20世紀に2度の世界大戦を経験し戦争の愚かさを十分承知しているにも関わらず、歴史の教訓が及ばない事に対し無念でなりません。1日も早い平和を祈るばかりです。またこの軍事侵攻に端を発し流通が寸断され、エネルギーや食糧の価格が高騰し深刻な人道的危機を招いているだけでなく、各国の経済成長にも大きな影響を与えています。

我が業界においては、日整会長の解職・理事解任、令和4年6月1日から柔道療養費の取扱いで患者様毎の「償還払い」への移行等、我々の生活・業界に直接衝撃を与える出来事が続きました。特に患者様毎の「償還払い」への移行に関しては、4つの事例が列挙されております。その中でも「本人・家族の施術請求」に関しては、ハッキリと不適切な問題として指摘されておりますので、十分注意をされて請求をお願いします。

5月15日、本会会館において定時総会を行いました。ご来賓に大野知事を始め、金井医師会長、大野元衆議院議員、関口参議院議員、古川参議院議員、三ツ林衆議院議員、また本会の顧問である加藤弁護士、吉井公認会計士と大勢の方にご臨席賜りました。その中で3つの課題をお話しさせて頂きました。

1、業界業態の曖昧さ 2、療養費の減少 3、会員拡大 です。

1、に関しては、巷を觀ての通りです。色々な看板や昇り旗。あれでは第三者から見て、整骨院・接骨院は何を施術してくれる所だろうと分からないのではないかと思います。これは、平成10年から始まった学校の乱立に起因している事は明らかです。残念ですが、心配されていた質の低下がみて取れます。分かりやすい、整骨院・接骨院に変えて行かなくてはならないと思います。

2、に関しては、この10年間に渡る療養費の異常な減少です。現在施術所は、約5万件あります。施術所の数がこの10年間で1万件以上増えたにも拘わらず、療養費はなんと約1,000億円も減少している事実です。誰が計算してもわかる事ですが、この事実を見逃すわけにはいきません。また今回の改定率を見ても、慣例で医科の半分の0.13%と厳しいものがあります。全体から見ると実質マイナス改定です。日整会員の約5割の人達が500万円以下の収入と言う厳しい現実を目の当たりにし、

しっかりと交渉をしていかななくてはならないと感じています。

3、に関しては、昨年から協議してきた問題で、現在具体的な行動に移しているところですので推移をみていきたいと思います。

先ほど業界業態の曖昧さを課題に挙げましたが、日整ではこの2年間「匠の技シリーズ」として、骨折・脱臼の無血整復と超音波観察装置を使って骨・軟部組織の確認の判断材料にしようと研修会を始めました。この研修会は決して小手先だけのものではなく、10年間と言う長いスパンで行うものです。もちろんその先も続けて行かなくてはならないと思います。先生方もご存知の様に、骨折・脱臼の取扱高は非常に少なくなっています。この原因としては、救急体制の整備を始め、多くの医療機関の存在、そして社会的セイフティーネットの充実等、要因は色々あると思います。勿論我々は、骨折・脱臼の応急処置は出来ても、施術を継続するにあたり医師の同意が必要という大きなハンデを背負っているのも事実です。しかし何と言っても我々のベースを成すものは、骨折・脱臼の無血整復です。骨折・脱臼の処置は、医師と柔道整復師しか出来ません。我々の真骨頂で有り柔道整復師の資格を取った以上、この事実をしっかりと肝に銘じておかななくてはなりません。取り扱う臨床例は少ないのだからと反論する方も多いと思います。しかし、これがあるからこそ存在し、その上で捻挫・打撲・挫傷そしてまた機能訓練指導員として活躍の場があるのだと思います。これがなくなると、巷にあるリラクゼーションと同様になってしまいます。本会にも渡辺副会長と言う「匠」がおりますので、しっかりと次世代に骨折・脱臼の無血整復が継承していける様な指導者を育成し、埼玉県全域のネットワークを更に充実したものにして再構築を図って行きたいと思います。もちろん、ウエイトの高い捻挫等軟部組織の損傷に対しても更に充実した研修会を行なっていきたいと思っています。技術力と人間力を磨きながら、更に患者様に満足して頂ける様な結果を出して、地域の皆様方に幸せな生活を送って頂ける事が公益社団法人としてのミッションだと思っていますので宜しくお願いします。

令和4年度 定時総会開催のご報告

令和4年5月15日（日）今年度もコロナ禍での定時総会開催となりました。

新型コロナウイルス感染防止のため、人数制限を設け役員、支部長、相談役、表彰者と来賓をお招きしての開催でしたが、大野元裕 埼玉県知事、金井忠男 埼玉県医師会長、関口昌一 参議院議員をはじめ本会顧問の議員の皆さま、加藤弁護士、吉井公認会計士と多数ご出席いただき久しぶりに活気のある定時総会となりました。

第一号議案（書面決議609名／会員数732名） 可決

令3年度事業報告及び令和3年度収支決算報告、監査報告承認の件

1) 令和3年度事業報告について

荻野 義之専務理事（総務部長）から詳細なる説明がありました。

2) 令和3年度収支決算報告

磯田和男常務理事（財務部長）から、収支計算書貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について詳細なる説明がありました。

3) 監査報告

松井 雄二監事、吉田 幸作監事から、諸帳簿は正確に記載されている旨の説明がありました。

報告事項

令和4年度事業計画及び令和4年度収支予算の件

荻野 義之専務理事（総務部長）から令和4年度事業計画及び収支予算についての報告がありました。



大野元裕埼玉県知事より祝辞



金井忠男埼玉県医師会長より祝辞



大河原会長あいさつ



春の叙勲 瑞宝双光章受賞 渡辺一民副会長

公益社団法人埼玉県柔道整復師会 表彰規定による表彰受賞者

定時総会 令和4年5月15日

永年会員表彰受賞者

※敬称略



写真後列左より 沼崎 稔（西部） 井深 英之（西部） 増田 哲男（大宮） 関根 直吉（埼玉） 並木 邦雄（草加八潮）
前列左より 宮倉 正（熊谷） 西山 安吉（川越） 大河原 晃会長 渡辺 一民（東部） 相馬 勇（浦和） 野口 正信（大宮）

役員表彰受賞者



写真左より 大河原 晃会長 渡邊 寛（草加八潮） 渡辺 一民副会長

功劳会員表彰受賞者



写真左より 大河原 晃会長 銭場 信雄（大宮） 渡辺 一民副会長

感謝状受賞者



写真左より 大河原 晃会長 河合 是幸（西部） 阿部 由香（西部） 渡辺 一民副会長

第45回公益社団法人埼玉県柔道整復師柔道大会

第30回埼玉県内少年少女柔道大会

第6回埼玉県少年少女柔道形競技会

事業部

本会主催の第45回公益社団法人埼玉県柔道整復師柔道大会が令和4年5月29日(日)深谷ビッグター
トルにおいて小学生、中学生のみで開催されました。

本大会は青少年の健全育成に努めると共に、地域柔道の発展に寄与する目的として県内の28道場・
クラブより198名の選手が参加しました。

コロナ禍により、観客の入場制限と選手、保護者、役員は2週間前からの健康管理表を提出し、試
合の合間には畳の消毒、選手は対戦前と後には手指の消毒をして徹底した感染予防対策をしました。

4. 5. 6年生の優勝、準優勝者の5名が11月20日(日)講道館で開催される日整全国柔道大会に埼
玉県代表として出場することになりました。

小学1年生の部

優 勝 牛窪 蒼 (喜多)
準優勝 秋山 柊 (岩槻)
三 位 林 新大 (三郷)
三 位 田所 花 (町田)



小学1年生の部

小学2年生の部

優 勝 篠宮 瑠良 (喜多)
準優勝 加藤 然 (川口)
三 位 緑川 結月 (川越)
三 位 齊藤 圭亮 (寺沢)



小学2年生の部

小学3年生の部

優 勝 阿部 太恒 (川口)
準優勝 岡崎 花梨 (朝霞)
三 位 濱島 正翔 (川越)
三 位 シセ 望瑠 (喜多)



小学3年生の部

小学4年生の部

優 勝 村上 颯葵 (男衾)

準優勝 牛久保和麻 (川越)

三 位 新井 孝明 (新井)

三 位 荒川 慶穂 (町田)



小学4年生の部

小学5年生の部

優 勝 内田 誠心 (喜多)

準優勝 田口 晃帆 (喜多)

三 位 鈴木勝太郎 (川口)

三 位 小林翔志郎 (会田)



小学5年生の部

小学6年生の部

優 勝 渡邊 翔太 (岩槻)

準優勝 小寺貴勇士 (川越)

三 位 矢代 蓮 (SEIWA)

三 位 富田 玲桜 (町田)



小学6年生の部

中学1年生男子の部

優 勝 田中 勇大 (喜多)

準優勝 寺澤 祐人 (寺沢)

三 位 高橋 未来 (男衾)

三 位 矢部 巧 (荻野)



中学1年生男子の部

中学2年生男子の部

優 勝 根岸 大哉 (SEIWA)

準優勝 小林 航 (川口)

三 位 堀内 煌世 (ケーシー)

三 位 高田 蒼空 (荻野)



中学2年生男子の部

中学3年生男子の部

優 勝 宮田 空人 (三郷)
準優勝 新井 秀典 (新井)
三 位 高堰 洸希 (菊池)



中学3年生男子の部

中学1年生女子の部

優 勝 小峯 一葉 (荻野)
準優勝 新井千紗都 (新井)
三 位 黒田 千尋 (喜多)
三 位 石田 伊織 (吹上)



中学1年生女子の部

中学2・3年生女子の部

優 勝 糺山 倅菜 (寺沢)
準優勝 正木 拓光 (芝)
三 位 上村日南乃 (深谷)
三 位 松本 帆奈 (吹上)



中学2・3年生女子の部

形競技の部

優 勝 取 上村 梨乃 (深谷柔道会)
受 今井 海友 (深谷柔道会)



形競技の部

第1回実技研修会 「埼玉ほねつき技術講座」を終えて

学術部長 原田 禎久

令和4年7月3日、本会初の本格的な実技研修会が行われました。本講座の講師を務めていただきました、渡辺一民副会長による確かな解剖学に基づいた機能解剖、整復固定理論により受講者には新たな「気づき」あり、実技指導では整復操作やシーネのモデリングと固定包帯法を再認識していただけたのではないのでしょうか。学生の皆さんにとっては少々レベルの高い内容でしたが、これから有資格者となり必ず役立つものと確信しています。



写真①



写真②

今回の「ほねつき技術講座」を通して正しい知識を修得して自身の技術研鑽を行うことこそ、我々の生き残る術なのです。大河原会長から「今後も本講座を継続して行く」との指針を示していただきましたが、老いも若きも勉強することは平等です。次回からの参加でも歓迎しておりますので、是非とも検討ください。以下（写真）実技指導の様子です。

写真③では今回のテーマである「橈骨遠位端（Colles）骨折」を立体的に理解するために、モデルの腕に実際の「前後面・側面」骨折型を描きます。



写真③

写真④⑤は講師が術者となり助手に前腕中枢部を把持させ、橈骨長軸（少々尺側）方向へ、ゆっくりと牽引し橈側より末梢片を尺側へ圧迫し「前後面軸を整復」。続き、更に牽引し助手は中枢を固定。術者は末梢片を背伸し、半円を描くように掌屈すると同時に「体裁き」により矯正回内して整復する様子。



写真④



写真⑤

写真⑥⑦⑧は順に包帯固定から三角巾装着の様子。三角巾装着のポイントは手部が肘部より高位にすることです。



写真⑥



写真⑦

※最後に「手巻き包帯（写真⑨）」！！皆さん面倒がらずに包帯は自らの「手」で巻軸帯にして何時でも骨折への臨戦態勢を、お忘れなく！！



写真⑧



写真⑨

日整帰一精錬受賞のあいさつ

川越支部 町田 尚司

この度 公益社団法人日本柔道整復師会 最高の榮譽である「帰一精錬賞」を受賞致しました。日頃 公益社団法人埼玉県柔道整復師会 大河原 晃会長を始め役員・会員の皆様方のご指導のもと青少年少女健全育成を行う事により、地域社会に貢献することが出来ました。

時には、整骨院と柔道場の両立そして本会の役員と大変な時期も有りましたが周りの方々、特に家族（妻）の支えにより乗り越えることが出来ました。今後も一層気を引き締め精進していきたいと思えます。

川越支部 荻野 義之

この度、日本柔道整復師会より帰一精錬賞を受賞しましたことに、日ごろ御指導をしていただきました皆様に感謝を申し上げますと共に、大変うれしく身の引き締め思いであります。

帰一精錬賞は、長年にわたり柔道の指導を通じて青少年・少女の健全育成また地域社会に貢献することで全日本柔道連盟の山下泰裕会長が発案されました。これからも宜しくお願い申し上げます。



左から 町田尚司会員、大河原会長、荻野義之会員

叙勲の栄に浴して

副会長 渡邊 一民

この度、2022年の春の叙勲に際し「瑞宝双光章」と言う勲章に浴したことは大変名誉な事として受け止めていますが、実は「ほねつぎ」である本業での叙勲ではなく「保護司」という立場での社会貢献という意味での叙勲であります。

広報への投稿依頼を受けた際には、筋違いかな？とも思いましたが、本会会員の中にも保護司をされている方々が先輩も含め数人いらっしゃるの、知って頂く良い機会かなと投稿に舵を切りました。

「保護司は何をしているんですか？」とよく聞かれます。「犯罪者等の社会復帰を手助けしています」とお答えします。が、正確に申せば保護司法第一条には「保護司は、社会奉仕の精神をもって、犯罪をした者及び非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪の予防のために世論の啓発に努め、もって地域社会の浄化をはかり、個人及び公共の福祉に寄与することを、その使命とする」とあります。

私事ですが、平成5年から約30年に亘り、他の保護司さんと同じように地域に根ざし地道な活動をしてきたことが評価されたようです。我々の仕事も本来、保護司と同じように地道な仕事であるはずですが、何時の頃からか？ 儲かるからと言って闇雲に一気にその数を増やしてきたことが小さなパイの食い合いとなった訳です。ましてや本業を忘れ、慰安行為が当たり前のような柔整師が溢れています。このままで良い訳はありません。

今回の叙勲にあたり改めて社会貢献という原点に戻り、ほねつぎ業を全うすべく投稿させて戴きました。

最後に、本会事業の一環として「ほねつぎ技術講座」を担当することになりました。療養費の存続と発展、ほねつぎの生残りをかけ老骨に鞭を打ち頑張りたいと思います。



鬼丸裕史春日部市議会議長、渡辺一民副会長、岩谷一弘春日部市長

「多喜男くん」

川越支部 増田 泉

川越支部 牛窪 千幸会員の父 多喜男さんが、今年の4月自叙伝「多喜男くん」を自費出版しました。多喜男さんは、19才のときに全盲と診断されましたが、絶望の中、前を向き努力をつづけ、パラリンピック柔道3大会で金メダルを2個、銅メダルを1個獲得しました。

絵を描くのが趣味だった千幸会員は、パソコンでイラストを描くことを勉強して、本書の表紙をはじめ、イラストや漫画に挑戦しました。「多喜男くん」は親子で協力し完成させた一冊となっています。川合 善明川越市長もFacebookで紹介し、イラストはプロ顔負けだと絶賛しています。

この作品には、「自信をなくした人も『頑張ろう』と思えるように」という願いが込められています。一部の書店か通販サイト「アマゾン」で購入できますので一人でも多くの方に読んでいただきたいと思います。



令和4年4月19日読売新聞

「匠の技 伝承」プロジェクト 指導者養成講習会の対面講習に参加して

学術部 酒井 俊一・金島 裕樹

2022年5月15日、上野の日整会館にて「匠の技 伝承」プロジェクト指導者養成講習会の対面講習が行われ、2名で参加してまいりました。講習の内容は、コーレス骨折と肩関節前方脱臼の整復・固定、同部位におけるエコー画像抽出操作でした。



【金島】

私からは、講習会の概要および当日の様子などを御紹介させていただきます。

2019年から、公益社団法人日本柔道整復師会は、骨折や脱臼の整復・固定の技術をさらに高め、その技術を繋げていくために「匠の技 伝承」プロジェクトを行っております。そして2021年からは、指導者養成講習会が開催されております。昨年度の講習会は、コロナ禍のため開講式を含めて全5回がオンライン形式でしたが、今回、指導者養成講習会としては初めて対面講習が実施されました。今回は東日本（北海道～岐阜県 各県2名）が対面講習の対象となっております。午前中は、固定材料作りや実技実習などを行い、午後からは、学生が受験する認定実技審査のような形式で、整復固定とエコーの評価をして頂きました。私は、公益財団法人柔道整復研修試験財団の認定実技審査員として学生を審査する立場にありますが、久しぶりに審査される側の気持ちを味わうことができ、程好い緊張感を楽しむことができました。結果、全県の先生が合格されております。

本プロジェクトの講師をつとめられる先生の御経験と素晴らしい技術は、柔道整復の貴重な財産であると思っております。プロジェクトを受講させて頂く者として、確りとした知識と技術を後世に伝承するという強い使命感をもって、責務の大きさを自覚し、微力ながらも柔道整復のさらなる発展のために尽力して参りたいと考えております。



【酒井】

僕の思った重要点を以下に簡単に記します。

1 コーレス骨折

一人整復の指導でありました。整復は牽引直圧法ですが、整復操作の基本となるものの確認作業だと思います。固定材料を用意して、スムーズに行えるよう、普段から準備が必要だと思います。特に包帯法は繊細なものなので、繰り返し練習が必要です。

2 肩関節前方脱臼

肩の典型的な脱臼を、一番知れわたっている、ヒポクラテス法で行いました。脱臼の整復障害の一番は、筋の緊張のため、整復前にいかに患者の緊張を解くか、そこがカギだと思います。患者の表情などで確認しながら、ゆっくり行うのが大事だと思います。まずは、骨頭の位置を確認し、上腕骨頭が動くのか、小胸筋によるロックが外れるのか、確認が必要です。整復後は、習慣性脱臼に陥らないよう、前方の圧迫が必要です。

最後に、講師の先生方、ご苦勞様でした。金井良太郎先生の写真の下で、実技研修ができたことに感謝します。ありがとうございました。



『柔整考学』…その4

常務理事 山本 光彦

◆渾身の力で牽引。◆経験も少なく若いころは加減がわからず肩関節脱臼を整復するため、兎に角、力任せに引っ張った。肩関節は球関節で可動域が広く、それゆえ脱臼が発生しやすい。肩関節脱臼の整復法はKocher法、Stimson法、Hippocrates法、Milch法、Cooper法、Donaghue法、Mothe法などがある。Kocherが一般的な烏口下脱臼は、上腕骨大結節が関節窩前方関節唇に固定されていることを発見したといわれる。さらに烏口上腕靭帯は上腕骨内転位で外旋させたときに緊張し、前方挙上で弛緩する。このため上腕骨頭を後側方へ移動することが可能となり上腕を内旋させると整復されるという方法が確立された。しかし、現在は骨頭の回旋運動時に腱板、関節唇、末梢神経、血管などを損傷する危険性があり、第一選択とするべきではないとの考えが主流だ。◆たくさんある整復法の中からどれを選択し実施するのには柔整師の技、腕の見せ所といえる。柔道大会で選手が脱臼した際の整復はHippocrates法(踵骨法)が多かったように思う。柔道選手は筋力が強いこと、即座に整復できることなどがその理由と考えられる。しかし、踵骨法も関節侵襲の危険性が高く、目にする機会は減っている。◆乱暴に見える整復操作も現代ではうけないのかもしれない。

Hippocratesは紀元前460年頃の生まれとされる。最も有名なのは宣誓文の「ヒポクラテスの誓い」で、今なお医療倫理の根幹を成している。

受傷から10日を経過した男性(91歳)の肩関節脱臼を経験したことがある。◆直ちに座位のままKocher法を試みようとして肘関節を屈曲し、肩関節を長軸遠位方向に牽引し外旋した。上腕骨頭が烏口下から動きはじめた時、男性が「ウッ」と叫んだので二次的損傷を懸念して牽引を少し緩めた。整復操作は行っていないにも関わらず、次の瞬間、骨頭は関節窩へ滑り込むように自然に整復された。◆因みに、Hippocratesは「病気は人間が自らの力をもって自然に治すものであり医師はこれを手助けするものである」との言葉も残している。正にその通りであることを実感したと共に、人体の不思議な能力にも気付かされた。◆何故そのようなことが起きたのか、現象そのものに何らかの意味があるならばその意味を深く考察することも柔道整復師には必要なことだと思う。

◆初めて整復したときの緊張感を忘れずに。◆歴史に学ぶ。そして、整復の時には患部を侵襲せぬよう、自分に言い聞かせる。渾身の力などいらなぬ。「牽引はほどほどに。」

◆印の後の言葉(ひらがな)一文字を並べて読んでいただければ・・・、

「○○○○、○○○○！ 立ったら歩きなはれ！」

松下電気器具製作所(現・パナソニック)創業者で「経営の神様」と呼ばれた松下幸之助翁の名言です。前向きに頑張りましょう！

「図解 眠れなくなるほど面白い自律神経の話」

著者/編集：小林弘幸 著

税込価格：935円

出版社：日本文芸社

発売日：2020年2月22日



知っているようで知らない自律神経の話。

自律神経は乱れるもの？ 左にページに図解、右ページに解説がわかりやすい言葉で書かれているので読みやすい。自律神経は乱さないように頑張るのではなく、乱れた時に元に戻せるリカバリー力が大切。睡眠、運動、腸内環境、食事、対策は色々あるが…ズボラな私は朝コップ1杯の水を飲むことから始めてみた。皆さんもお試しを。

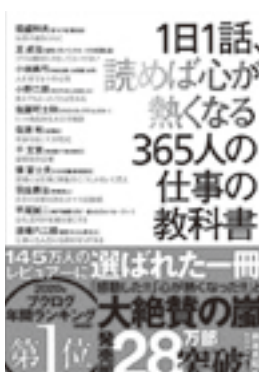
「1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書」

著者/編集：藤尾秀昭・監修

税込価格：2,585円

出版社：致知出版社

発売日：2020年11月



毎日1ページ読み進め365日、つまり著名人の話が1年で読み終えるように構成されている。1話は10分程度でサクッと読むことができる。心に響くものがあり、共感できるものがある。例えば、ジャパネットたかた創業者の高田明氏「私は一所懸命やらなかったことを失敗だと思っているので、やってダメだったことは失敗じゃないんです。」

勿論、すべてを一気読みもできるが、仕事の前に一話を読み今日一日、気合を入れて頑張ろうというのもお勧めです。

新入会員紹介

(令和4年1月1日～令和4年6月30日入会)



浦和支部

山本 康平

〒330-0071

さいたま市浦和区上木崎2-14-19-103

TEL 048-767-6682

(趣味特技)

サッカー



西部支部

三浦 勝仁

〒359-1164

所沢市三ヶ島3-1394-4

TEL 04-2938-2888

(趣味特技)

MTB森林ツーリング



秩父支部

関根 宏幸

〒368-0043

秩父市中町17-9

TEL 0494-22-1456

(趣味特技)

ボルダリング



川越支部

森田 篤史

〒350-0225

坂戸市日の出町2-6 三櫻ビル202

TEL 049-277-3982

(趣味特技)

釣り・キャンプ



西部支部

岡田 豪紀

〒350-1316

狭山市南入曾567-8

TEL 04-2959-5599

(趣味特技)

ゴルフ・バイク



埼玉支部

土屋 直義

〒345-0025

北葛飾郡杉戸町清地4-10-18

TEL 0480-53-3884

(趣味特技)

我が子にあそばれる・料理



秩父支部

矢島 徹

〒369-1871

秩父市下影森795

TEL 0494-26-6960

(趣味特技)

スポーツ



東部支部

稲葉 勇次

〒343-0826

越谷市レイクタウン3-1-1

レイクタウンMORI2F

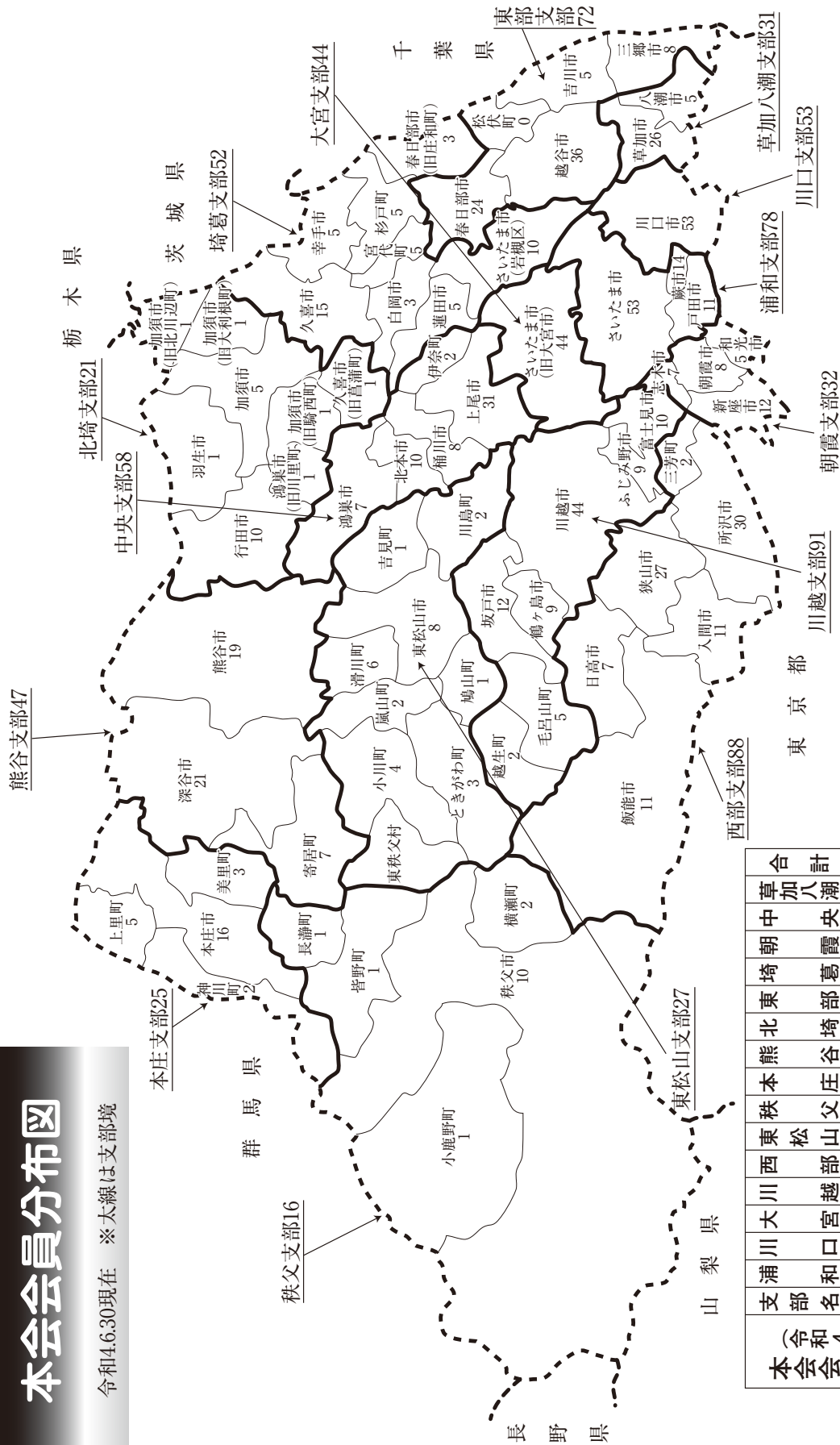
TEL 048-990-3263

(趣味特技)

映画・音楽鑑賞・スポーツ観戦

本会員分布図

令和4.6.30現在 ※太線は支部境



支部名	会員数	準会員
浦和	七八	
川口	五三	
大宮	四四	
川越	九一	
西松	八八	
東松	二七	
秩父	二六	
本庄	二五	
熊谷	四七	
北埼玉	二二	
朝霞	三三	
中央	五八	
草加八潮	三一	
合計	七三五	二八

(令和4・6・30現在)
本会員数

表紙の説明

所沢航空記念公園は、埼玉県所沢市にある県営公園。

「日本の航空発祥の地」として知られ、名称の由来となる。

1978年（昭和53年）3月に開園し、「航空公園」の名で親しまれている。

埼玉県内の県営公園としては最大規模の当公園は、総面積50.2ha、戦前の1911年開設の日本で最初の飛行場である所沢飛行場の跡地に整備され、開園以来敷地内にはそれぞれ独立した施設が順次建設されている。

公園内には、航空発祥記念館や所沢市立図書館をはじめ日本庭園・茶室「彩翔亭」、野外ステージ、テニスコート、野球場やドッグランなど、様々な施設がある。



編集後記

今回ご投稿いただいた皆様、心より感謝申し上げます。

今号では、定時総会、柔道大会、ほねつぎ技術講座など、多くの事業が開催されて紙面に掲載する内容も増えて賑やかになりました。

2年ぶりに開催された柔道大会、大きな声を出して応援することはできませんでしたが、白熱した戦いが繰り広げられました。入賞された選手の笑顔がとても印象に残っています。

ほねつぎ技術講座も、多くの会員が参加されました。「骨折」「脱臼」の整復固定は、我々柔道整復師の核となるものです。その技術をしっかりと継承し後世に伝えていくことが重要であると感じております。

会員拡大に向けて、入会金および準会員規程定の変更など、新たな取り組みを始めています。一人でも多くの柔道整復師が本会に入会していただくよう、正しい情報を発信し共有できるよう努めて参ります。

会員の先生方皆様には、日々仕事への思い、身の回りでのいい話、その他ご投稿をお待ちしております。また、写真撮影が好きな方、誌面に掲載してほしい写真等ございましたら、広報部までお申し出いただけたらと思います。

広報部へのご意見もいただけますと改善の参考とさせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

柔整倫理綱領について

広報部

厚生省（現・厚生労働省）からの指導もあり、日本柔道整復師会及び、全国柔整学校協会の双方の組織から起草委員を選出し、昭和62年（1987）に制定したものです。医の倫理が強く叫ばれ、求められている昨今、会員各位には綱領の意を充分理解し、実践されることを願ってやみません。

広報部から

埼玉広報 原稿募集

1. 論説、時評、学術、随筆、処世術等をお送り下さい。
2. 原稿用紙は400字詰
3. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は、編集人におまかせ下さい。
4. 引用文献は必ず著者名、著書名、巻頁、発行所を明らかにして下さい。
5. インターネットでの送付は下記アドレスへお願いします。
6. 原稿の送り先

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6

(公社)埼玉県柔道整復師会広報部宛

メールアドレス：info@saisetsu.or.jp

なお、投稿者は、なるべく写真を添付して下さい。

次回締め切りは、令和4年11月30日です。



埼 整 広 報 No.103

令和4年9月1日発行

発 行 者 大河原 晃

編 集 人 楠 美 明 人

発 行 所 (公社)埼玉県柔道整復師会

〒331-8681 さいたま市北区宮原町1-166-6 電話 048-651-1211(代)

制 作 協 力 望月印刷株式会社

〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36 電話 048-840-2111(代)